

関西いのちの電話



飛騨高山
撮影：岡本悦子



「心に寄り添う支援」

関西いのちの電話 理事
公益財団法人大阪YWCA 総幹事 中山羊奈

ドメスティック・バイオレンス（以下DV）は、夫婦や恋人同士などの親しい関係において、一方が他方を暴力で支配することを言います。身体的な暴力だけでなく、罵倒したり、無視をしたり、行動を制限したりすることもDVだと考えます。2012年度の内閣府の調査では、配偶者から「身体的暴行」「心理的攻撃」「性的強要」のいずれかを1つでも受けたことがある女性は、32.9%。実に3人に1人は経験があることとなります。

公益財団法人大阪YWCAは、2005年にDV被害女性の回復とエンパワーの支えとなることを願って、「ステップハウス」を立ち上げました。DV被害を受けた女性は、被害によって心身ともに傷つき、疲れ果てていることが多く、シェルターに緊急一時保護されたとしても、その後すぐに自立して生活を始めることは困難を極めます。そこで「ステップハウス」では、安心できる環境を提供し、心と身体の回復と自立に向けた様々な支援を行い、新しい生活

に入る準備をサポートしています。

いのちの電話の活動と同じで、支援の主体はあくまでご本人。目と耳と心を開いて、お話をしっかりと伺い、相手の心に寄り添った支援を心がけています。加害者から暴力による支配を受けていた被害者が、色々な支援者と出会い、自分自身について語ること、自分で決めるという体験を積み重ねていくことも回復に向けての大切な一歩です。また、社会全体の様々な資源とつなげていくことも重要だと考えています。支援がより充実していくのに加え、実際の支援にはつながらなくても、必要とされているサービスを行政側に気づいてもらうきっかけになるかもしれません。

どんなに研修を重ねても、思うように支援のできないことや、長く暴力にさらされ続けたことの影響の大きさに無力感に襲われることも多々あります。しかし、人との関係の中で負わされた傷は、人との関わりによって癒されるのだと信じ、私達のできることを続けていきたいと思えます。

こころがつかれたら… 相談電話(24時間) ☎06-6309-1121

自殺予防いのちの電話 ☎0120-738-556 毎月10日8:00～翌日8:00(24時間・無料)

記録分析委員会からの報告

2013年の受信状況について

関西いのちの電話では、相談員が記録した受信記録カードをもとに、1年間の受信状況について分析を行っています。今号では、その分析に携わる記録分析委員会から、読み取れる傾向等について報告します。

2013年全体を通して

2013年1年間の受信件数は23,643件で昨年より若干減少したものの、2010年以降23,000件を超えています。性別では男性が全体の44%、女性が56%で、女性のウエイトが増加し続けています。

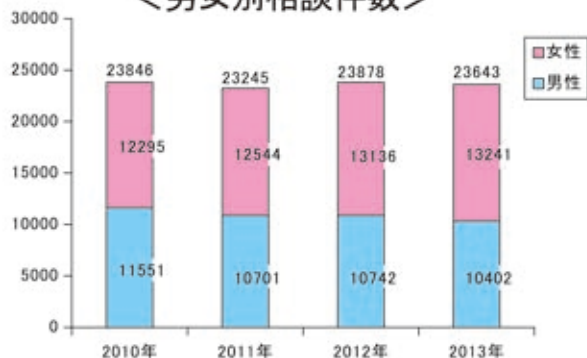
下の属性別グラフの通り、女性は20代・30代では未婚者からの相談が多く、40代・50代では既婚者からの相談が多くありました。受信記録カードの内容を見ると、20代・30代では、心の病のために就職や結婚などの将来への展望が閉ざされ、社会との繋がりを持てない疎外感や閉塞感、また40代・50代では、子育てや夫婦関係で悩む姿や介護による重圧が表れていました。

一方、男性ではどの年代でも未婚者が多く、その多くが心の病を抱え、仕事ができず結婚もできない。そして世の中から孤立し、将来への不安を抱き、受話器をとる姿がうかがわれます。

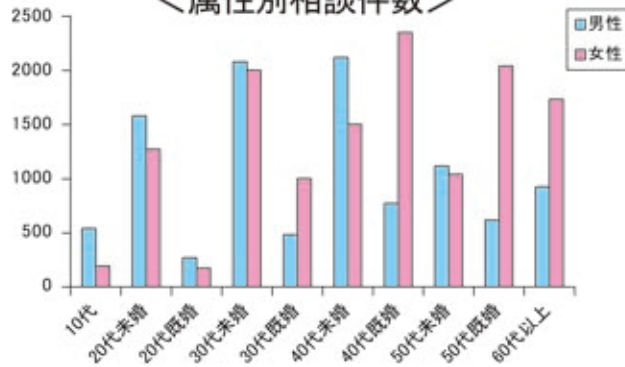
自殺傾向について

自殺傾向の電話は男性1,289件、女性2,638件で、女性が男性の2倍以上でした。警察庁発表の自殺者数は男性18,477人、女性8,841人で、男性が女性の2倍以上という状況が続いていることから、誰にも相談できないまま一人で苦しんでいる男性が多く、電話相談に繋がられていない状況が分かります。

<男女別相談件数>



<属性別相談件数>



関西いのちの電話 第19回チャリティーコンサート



キュウ・ウォン・ハン バリトンリサイタル

日 時：2014年8月26日(火) 19:00開演(開場18:00)
* 座席指定券引換17:00より

会 場：いずみホール/JR大阪城公園駅より徒歩3分

チケット：前売り 3,000円(当日3,500円) * 当日座席指定

チケット取扱い：関西いのちの電話事務局 T e l : 06-6308-6868

F a x : 06-6303-6180

E-mail : ka ind@age.ac

：いずみホールチケットセンター T e l : 06-6944-1188

1972年韓国ソウル生まれ。日本では指揮者 佐渡裕の信頼が厚く、「1万人の第九」に2004年から毎年出演。テレビ「題名のない音楽会」に何度も出演。ヨーロッパ、アメリカ、日本、韓国での活躍が自覚ましい期待の若手バリトン歌手である。今回が大阪での初リサイタルとなる。

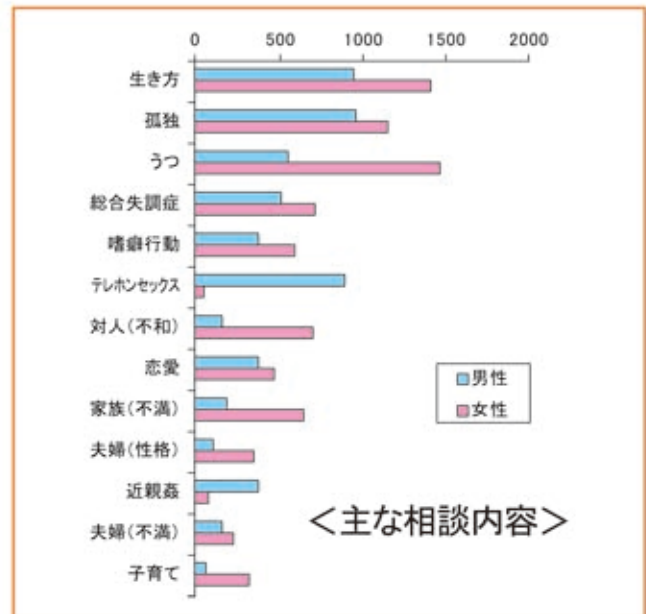
自殺傾向の電話は受信件数全体の17%で、前年より若干減少しました。その内、女性は20%で昨年と同じ、男性は12%で4%減少しました。自殺傾向は若い女性の方が高く、20代未婚女性、20代既婚女性、30代未婚女性という順番でした。

相談内容について

相談内容は、右の男女別相談内容のグラフからも分かるように、男性では「孤独」「生き方・生きがい」「テレホンセックス」、女性では「うつ」「生き方・生きがい」「孤独」が上位を占めました。女性で「うつ」を訴える人の3分の1に自殺傾向がありました。男女ともに世の中から孤立し、孤独や不安を感じ、自分には生きる意味があるのだろうか、多くのかげ手が悩んでいました。テレホンセックスの増加については、孤独が背景にある場合もありますが、今後の課題と捉えています。

受信記録カードを読むことで

記載された内容を読み込むことで、統計数字では読み取れない、かけ手と聴き手のやり取りや訴えの背景などが見えてきます。将来へ不安を感じながら生活しているかけ手。時としてその不安は「怒り」に変わり、相談員にぶつけられることがあります。そんなかけ手の思いに共感できず、不愉快なままで終了する相談員もいますが、「怒り」の裏にある不安な思いをしっかりと受け止め、終了際に「怒りっぱなしでごめんなさい。今はまだしばらくこのままです。いさせてほしいです」と言われ、共に涙する相談員もいました。繰り返しかけてこられる方の電話も、多くの相談員がその不安な思いをしっかりと受容することで、かけ手が変化していく姿をカードの中に見ることができます。いのちの電話の「みんなで聴き



続けることのできる力」です。

私たち相談員は、かけ手の語る世界と自分が生きている世界との間にあまりにもギャップがあると感じた時、その話をいかに受け取り、寄り添えるのだろうか悩みます。そして時には無力さを感じることもあるのです。しかし、受信記録カードを読み込む作業は、この無力感を一時保留して、記載されたかけ手の世界と読み手である自分の世界を照らし合わせ、電話のやり取りをシュミレーションすることができます。対応力向上に繋がるだけでなく、私たちの生きる糧にもなると感じながら活動しています。

受信総件数はかかってきた数ではなく、どれだけ受信できたかの数字です。ここ数年23,000件を維持していますが、電話のブースに空きが出ないように相談員同士が支え合っている結果だということもご理解いただければ幸いです。

(記録分析委員会)

夏期募金をお願いします



24時間365日「眠らぬダイヤル」として相談活動をおこなっています。

皆さまのご支援が、電話をつなぎ「いのち」をつなげます。

いのちの電話の活動を支えてください。

お振込先 ※社会福祉法人へのご寄付は税制上に優遇されます。
 口座名義：社会福祉法人・関西いのちの電話 理事長 李 清 一
 口座番号：ゆうちょ銀行・郵便局 00990-3-68480
 口座番号：三井住友銀行 十三支店(普) 998829



傾聴と共感 (16)

「共振れ(その1)」

相談ケースの中に性的少数者(セクシャル・マイノリティ)の人からの訴えがあります。最近では、LGBTとも表現されて、次の人たちを含んでいます。Lはレズビアン(女性同性愛者)、Gはゲイ(男性同性愛者)、Bはバイセクシャル(両性愛者)、Tはトランスジェンダー(心と体の性の不一致)で、性同一性障害と呼ばれています。

私たちが性的少数者からの訴えをどれくらい受けているのかを、2013年3月から6月までの4か月間のデータを集めました。その間の全受信件数8,130件(男性3,553・女性4,577)、性的少数者からは、62件(男性48・女性14)全体比では、0.8%(男性1.5%・女性0.3%)となりました。

その中でもトランスジェンダー(心と体の性の不一致)のかけ手からの悩みは、深く重い内容が多いのです。当然、その訴えを聴く聞き手には、全く経験のない世界の話で動揺が起こります。

そのような訴えのひとつ。中学の時、生理がなくて診察を受ける。女性でもなければ男性でもない、中性と言われる。女性への性転換の手術を勧められる。

でも手術したら、女性ホルモンの薬を一生飲まなくてはならない。私は手術はしたくない。

聞き手には、珍しい病気の訴えと相手の迷っている気持ちが痛いほど伝わってきます。相手の迷いは、「私はこれから、女として生きるのか、男として生きるのか」という決断に直面しているからです。この相手に寄り添う聞き手も「どう受け止めたらよいのか」と感情が揺さぶられるのです。

もう一つの例。小学校6年ごろから男であることに違和感を持つ。18歳の時女性になる決断をして、外国で手術。風俗のお店で働き借金を返している。しかし、女性に形成した自分の身体について行けない。身も心もボロボロになっている。

男性であるか女性であるか、自らの存在の根本に関わることです。体は女性になって、男性に弄ばれる「私」という存在への不安と、「私は一体何者なのか」との問いに打ちひしがれているのです。

このかけ手の苦しさに寄り添い受け止めようとするとき、聞き手はその問いの重さに自らの存在をも揺さぶられるのです。この聞き手としての「私」が揺さぶられている状況を「共振れ」というのです。

この「共振れ」こそ、聞き手の人間存在としての「私」を育てる手がかりになるのでしょうか。

(長尾文雄)

関西いのちの電話
公開セミナー

聴く力を育てる講座

5回の講座はロールプレイを取り入れた実践的な内容です

- I. 2014年11月 1日(土)13:30~15:30
- II. 2014年11月 8日(土)13:30~15:30
- III. 2014年11月15日(土)13:30~15:30
- IV. 2014年11月29日(土)13:30~15:30
- V. 2014年12月 6日(土)13:30~15:30

場 所: 大阪市立総合生涯学習センター・梅田
大阪駅前第2ビル6階・第2研修室
費 用: 4,000円・資料代を含む(全5回分)
納入後払い戻しはできません
募集人数: 40名
募集時期: 9月初旬(予定)

* 講師は相談員の養成、研修の指導に携わっています。

* 申込み・問合せ先: 社会福祉法人 関西いのちの電話
〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3-1-72
Tel: 06-6308-6868 Fax: 06-6308-6180

2014年電話相談受信状況

受信月	1月	2月	3月	4月	5月
受信件数	1,902件	1,897件	2,107件	1,932件	2,206件
相談員数(延)	454人	447人	509人	475人	513人

編集後記

昨年7月号は「相談員全国研修会おおさか大会」開催直前号で、紙面を関連記事で構成。10月の大会は相談員の知恵・熱意・行動が一体となり大成功。本年5月、大会運営の中心で重要な仕事を担われた大会実行委員の「お一人」の突然の訃報。

今年7月号は電話相談の受信状況・受信内容に関連する記事を複数掲載。

人生は「無常迅速」。何一つ定常なものはない。時間とともにすべては変転。相談者に寄添うとはその人独自の時間の流れに合わせる事か。思いも寄らず迅速に逝かれた「お一人」に謹んで合掌。(HS)

バザーのお知らせ

日時: 11月1日(土)・10時から
場所: 聖蹟主教会及び中庭

関西いのちの電話創立41周年記念バザーを開催します。たくさんの方に来ていただき、楽しんでいただけるバザーにしたいと思います。

大阪府共同募金会の助成を受けて発行しています。

社会福祉法人 関西いのちの電話

事務局 〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3-1-72
TEL 06-6308-6868 FAX 06-6308-6180

発行人 李 清 一 編集 広報委員会

ホームページ <http://www.kaindnew.com>